

鳥取県内の生涯学習情報が満載！



ページ
1 特集

まちづくりはエンターテインメント

特定非営利活動法人 とうごう未来応援隊

- 4 とっとり県民カレッジ連携
生涯学習講座情報（5・6月）
- 21 未来をひらく鳥取学
- 23 私たちの活動を紹介します！
読み聞かせの会 しゃぼん玉
- 24 カラーユニバーサルデザインを取り入れよう！
- 25 鳥取県立生涯学習センター（お知らせ）
- 27 子どものすこやかな育ちを企業も応援！



「切り絵シリーズ」 白兔海岸のハマナス（鳥取市）

5月から6月にバラに似た花を咲かせ、自生南限地として知られる。

絵・文：紙原 四郎 氏

まちづくりはエンターテイメント！

特定非営利活動法人 とうごう未来応援隊



観光客も訪れる「とうごう田植えまつり」

小学校の統廃合問題をきっかけに、東郷地区活性化に向けた機運が高まり、PTAが中心となって、「特定非営利活動法人とうごう未来応援隊」を設立。少子高齢化と人口減少が進行中、子どもたちの未来を願い、地区内外の人を巻き込んでまちづくりに向けて活動中！代表理事の橋崎和弘さんにお話を伺いました。

鳥取市東郷地区とは

鳥取市東郷地区は、鳥取市の市街地からわずか5キロメートルほどのところにありますが、過疎化が急速に進行中。世帯数285戸（内、有人世帯数は209戸）、人口716名、高齢化率は約40パーセントの地域です。

同地区にある鳥取市立東郷小学校は、少子化の影響により全校児童26名という状況です。PTAは、部制度を廃止し、全員が役員という仕組みを作っています。必ず保護者が子どものことに関わり、何か行事があればほぼ全家庭が参加するなど、保護者間のつながりが強い地域です。

また、小規模転入制度*⁽¹⁾があり、26名中11名の児童を地区外から受け入れています。地区外保護者との親睦も深く、保護者、学校、地域のコミュニケーションが十分とれており、子どもたちをみんなで見守る環境が整っています。



特定非営利活動法人
とうごう未来応援隊
代表理事 橋崎 和弘 さん



PTAが中心となってNPOを設立

しかし、小規模校ゆえに小学校の統廃合問題とも背中合わせ。人口減少、少子高齢化、耕作放棄地の拡大、空き家の増加、若者の流出といったさまざまな課題を抱える中、平成23年校区審議会中間報告の中で統廃合問題が浮上。「地域を何とかせねば！」とPTAが中心となり、行政への協力要請や他機関、他団体との連携も視野に入れて、平成26年3月に17名で「特定非営利活動法人とうごう未来応援隊」（以下、「とうごう未来応援隊」という）を設立しました。

「小学校がなくなれば、地域は確実に衰退するという危機感がありました。子どもたちと地域を守りたいという想いがどんどん強くなっていった・・・。私は、当時もPTA会長をしていたため、全家庭にこの想いを書いた文書を配布しました。多くの家庭が賛同してくれて」と、みんなの気持ちが一つになった瞬間をふり返ります。

現在、地域の課題に対して、時代に合わせた対策と活動を行う「課題解決事業」と、地域の特色や資源を活用することで新たな魅力を創出する「魅力創出事業」を展開中です。

まちづくりは想定外なことばかり

まちづくりは予期せぬことばかり。計画どおりにはいかないこともあります。また、理想が高すぎると、計画から外れてしまったときの落胆が大きいもの。そのため、「とうとう未来応援隊」では、まずはやってみることを重視しています。動いてみて、活動を発信して、賛同者を増やしていく、そのことが苦にならずに楽しくやれることを目指しています。

企画は、メンバーみんなで考えます。話をしながら、ブレインストーミング*⁽²⁾でどんどん意見を出し合い、これおもしろいよね！これやってみたいよね！というものを選びます。

「まちづくり活動は『エンターテイメント！』とメンバーは言います。来てくれた人が楽しかったと思ってくれることが大切。そして、自分たちが本当に楽しいと思わないと継続しません。逆に自分たちが楽しんでいけば、自然と人は寄ってくるはずという考えで活動をしています。

※(1) 小規模転入制度

豊かな自然環境や小規模であることの特徴を生かし、自然に触れる中で学ぶ楽しさや心身共に健康で豊かな人間性を培いたいと希望する児童生徒・保護者に、一定の条件を付して入学を認める「小規模校転入制度」を平成17年4月から実施しています。(鳥取市ホームページより抜粋)

※(2) ブレインストーミング

アイデアを創造する技法の1つ。集団(グループ)で行うもので、あるテーマに対し、各人が思いつくままにアイデアを出し合い、あとでアイデアを整理しまとめあげる。実施には、次の4つのルールがある。①他人のアイデアを批判しない。②自由奔放なアイデアを歓迎する。③質より量、アイデアは多いほどよい。④他人のアイデアを活用し、発展させる。

※(3) 6次産業化

第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むこと。

今ある資源をそのまま生かす

平成28年から、「田植えまつり」を開催しています。橋崎さんがあるテレビ番組で、泥田の上を、丸太橋や傾斜台を乗り越え、背負った苗を植えてタイムを競う様子を見て、『これを鳥取でやりたい！』と思ったのがきっかけです。今まで、東郷に地区外の人が足を踏み入れるイベントは全くなかったのが、西部や県外からも観光客が訪れ、参加者は200名近くになりました。「『参加してよかった』とか、『東郷っておもしろいところだね』って言うていただけことが、本当にうれしかったですね」と笑顔で話す橋崎さん。

6次産業化*⁽³⁾で東郷ブランドを発信！

東郷の農作物を使って加工品を開発して販売することで、東郷の名前を知っていただきたかったという橋崎さん。日本では、95パーセント以上を輸入している唐辛子に目をつけ、唐辛子の栽培に取り組んでいます。「別のテレビ番組を見ていた時に、京都の限界集落にある耕作放棄地で唐辛子を栽培し、その唐辛子を使ってタバスコを作っていることを知りました。さっそくその方に会いに行き、栽培から加工に至るまで、いろいろなノウハウを指導していただきました」と、付加価値の高い国産唐辛子の栽培をはじめたきっかけを話します。唐辛子は管理が比較的やさしく、栽培もスムーズに始めることができました。この唐辛子で、マヨネーズ粉末とかけ合わせた「七味マヨ」などの粉末調味料を商品化しています。

課題解決事業(耕作放棄地対策)を紹介します！



管理方法を変える

チキントラクター

移動式の小屋で鶏を飼い、一週間ごとに移動することで、除草します。鶏は雑草をついばみ、卵を産み、鶏糞で土壌もよくなります。



活用方法を変える

休耕田を養殖場に転換。なまずの養殖に挑戦！



耕作物を変える

国産唐辛子を栽培するなど付加価値の高いものを栽培することで、野菜栽培を楽しみの一つとして変えていきます。



そのまま生かす

年中泥田場として開放。地区外の保育園親子会や学生、一般の方に利用していただきます。

コミュニティ・スクールにも力を入れています

全校生徒が30人をきっているので、小学校単体のクラブ活動は実施が困難な状況です。そこで立ち上げたのが、「東郷スポーツクラブ」。子どもたちに何らかのスポーツをさせたいという思いから、週に1回、週替わりで約9種目のスポーツに取り組むことで、スポーツの楽しさを知り健康な体づくりを行っています。昨年は、プロアスリートを招聘し、子どもたちが指導を受けました。

このほかに、特徴的な取組として、ゴルフがあります。近くにゴルフ練習場があり、指導協力を得てスナッグゴルフ※(5)のプロゴルファーを養成しています。「スナッグゴルフは東郷でしかできないクラブ活動として、校区外児童が転入するきっかけにもつなげていきたい」と、橋崎さんは力強く話します。

子どもたちの未来を願って

昨年からは、東郷地区のむらづくり協議会のメンバーにもなりました。「地域の方にも自分たちのNPOを認知してもらえたという気がして、とてもうれしいですし、ありがたいです」と話す橋崎さん。世代間交流をしながら、どの

世代も一緒になって子どもたちの未来のために活動をしたという強い気持ちが伝わってきます。今後は、空き家の活用や移住定住にも少しずつ取り組んでいく予定。NPOとして、東郷地区以外の人を巻き込みながら、小規模小学校の特色と地域組織の団結力、地元の人の魅力と力を結集したコミュニティを作り上げていくことを目指します。

「地区の子どもたちがこの先東郷を出たとしても、自分の生まれたところはよかったと思える地域づくりをしていきたいです。お父さんやお母さんがなんだか楽しそうに地区のことに熱心に取り組んでいるなど感じてもらい、いつでも帰れる場所、心の故郷を作っておきたいですね」と父親の顔ものぞかせる橋崎さん。

子どもたちのため、東郷地区住民のため、東郷を応援してくれる人たちのために活動を続ける「とうごう未来応援隊」。「東郷には魅力があるから人が集まってくるんだって思われるようにしていきたいですね」と、瞳を輝かせます。東郷地区の未来へと新たな挑戦をし続けます。

※(5) スナッグゴルフ

「やさしく」「正確に」「どこでも」「だれでも」ゴルフの基本を学ぶことや教えることができ、広さの限られた場所でも充分に楽しめるスポーツです。



東郷ブランド発信

唐辛子加工品の開発、販売

魅力創出事業を紹介します！



とうごう田植えまつり



東郷さくらまつり
荒れていた桜広場を復活！4月にさくらまつりを開催



東郷スポーツクラブ

スナッグゴルフ



とうごう未来応援隊のメンバー

東郷サポーターズ

サポーターはどなたでも参加可能！
あなたも一緒に活動しませんか？

イベントのボランティアスタッフや各種活動のための作業、東郷地区事業への出展などを行っています。



【東郷地区まちづくり活動】

<連絡先>

特定非営利活動法人 とうごう未来応援隊

〒680-1175 鳥取市中村 367-2

TEL 090-8245-0973 (橋崎さん)

URL <http://togomirai.org>

Facebook <https://www.facebook.com/togomirai.org>